

令和6年度廿日市市地域包括支援センター事業報告

1 総括事項

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定や保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務などを実施した。

(1) 設置

ア 廿日市市地域包括支援センター 5か所

センター名		住 所
直 営	はつかいち西部	地御前一丁目3番28号 (多世代サポートセンター2階)
	さいき	津田1989番地 (佐伯支所1階)
	おおの	大野一丁目1番1号 (大野支所1階)
委 託	はつかいち東部 【社会福祉法人西中国 キリスト教社会事業団】	新宮一丁目13番1号 (山崎本社みんなのあいプラザ3階)
	はつかいち中部 【医療法人みやうち】	宮内4286番地1

イ 地域高齢者総合相談窓口 2か所

ブランチ名		住 所
直 営	ブランチ吉和	吉和1886番地 (吉和支所 市民福祉係)
委 託	ブランチ宮島 【社会福祉法人いもせ聚楽会】	宮島町960番地2 (いもせ聚楽会宮島事務所)

(2) 職員配置 (令和7年3月時点)

【直営】

(人)

センター名	三 職 種	介護予防支援員	その他	合計
地域包括支援センター	所長（保健師） 1			1
はつかいち 西部	保健師 1 社会福祉士 1 主任介護支援専門員 1	社会福祉士 1 看護師 1 介護支援専門員 3	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	10
さいき	保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 1	保健師 1 介護支援専門員 2	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	8
おおの	保健師 1 ★社会福祉士 1 主任介護支援専門員 1	保健師 1 社会福祉士 1 看護師 1 介護支援専門員 4	認知症地域支援推進員 1 一般事務補助員 1	12
合 計	10	15	6	31

(★) は市内法人からの客員スタッフ

【委託】

センター名	三 職 種	介護支援専門員	その他	合計
はつかいち 東部	所長(注) (1) 保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 2	保健師 2 社会福祉士 1 介護支援専門員 1	一般事務補助員 1	9
はつかいち 中部	所長(注) (1) 保健師 1 主任介護支援専門員 1 社会福祉士 1	保健師 3 主任介護支援専門員 1 介護支援専門員 1	一般事務補助員 1	9

(注) 所長は主任介護支援専門員を兼ねる。

※ 委託包括の認知症地域支援推進員は地域包括ケア推進課で雇用し、東部及び中部担当として各1名配置。

2 事業報告

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談支援業務

高齢者等に関する様々な相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、関係機関との連携によって必要な支援を行った。

相談者は「本人」が最も多く全体の43.3%であった。次いで「事業所・施設」からの相談が17.4%、「家族・親族」からの相談が13.2%となっている。

(7) 相談支援延件数 (件)

年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
電話相談		27,048	28,700	29,913
面接相談	来所	3,526	3,977	3,932
	訪問	11,552	13,032	13,206
文書・FAX・出先等		1,237	973	1,371
合 計		43,363	44,675	48,422

(イ) 令和6年度センター別相談支援延件数 (件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
電話相談		7,994	4,542	4,978	4,795	7,604
面接相談	来所	1,018	448	669	601	1,196
	訪問	3,213	2,424	1,854	1,984	3,731
文書・FAX・出先等		339	93	240	385	314
合 計		12,564	7,507	7,741	7,765	12,845
新規実件数		605	375	396	216	733

(ウ) 実態把握延件数 (件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
電 話		287	311	728	620	771
訪 問		261	280	334	434	533
合 計		548	591	1,062	1,054	1,304

イ 相談内容

相談内容は、多い順から「心身・生活」、「介護」、「医療」、「認知証」、「その他精神疾患」となっている。

(7) 相談内容別延件数（割合）

相談内容	東部	中部	西部	さいき	おおの
心身・生活	3,491 (28.0%)	1,300 (27.4%)	5,011 (32.2%)	5,620 (48.4%)	3,550 (26.8%)
介護	4,515 (36.3%)	1,791 (37.7%)	4,329 (27.8%)	2,162 (18.6%)	5,111 (38.6%)
医療	1,760 (14.1%)	583 (12.3%)	1,242 (8.0%)	1,093 (9.4%)	1,680 (12.7%)
認知症	721 (5.8%)	251 (5.3%)	1,028 (6.6%)	971 (8.4%)	876 (6.6%)
その他精神疾患	212 (1.7%)	33 (0.7%)	563 (3.6%)	69 (0.6%)	333 (2.7%)

(イ) 相談内容の順位

	東部	中部	西部	さいき	おおの
1位	介護	介護	心身・生活	心身・生活	介護
2位	心身・生活	心身・生活	介護	介護	心身・生活
3位	医療	医療	医療	医療	医療
4位	認知症	認知症	認知症	認知症	認知症
5位	その他の精神疾患	住宅改修	その他の精神疾患	生活困窮	その他の精神疾患

ウ ブランチ業務（吉和、宮島地域）

管轄する地域包括支援センターの地域窓口として、総合相談や実態把握を行い、地域包括支援センターと連携をとりながら支援を行った。

(7) 相談支援延件数

(件)

年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
電話相談		57	40	48
面接相談	来所	19	33	20
	訪問	77	92	115
合 計		153	165	183

(イ) 令和6年度ランチ別相談支援延件数

(件)

ランチ名		吉和	宮島
電話相談		19	29
面接相談	来所	11	9
	訪問	6	109
合 計		36	147

(ウ) 令和6年度ランチ別実態把握延件数

(件)

ランチ名	吉和	宮島
合 計	268	150

エ 医療との連携

医療機関が主催する退院時カンファレンスに参加し、対象者の状態を共有し、安心して在宅生活を送るために必要な支援等を協議した。

退院時カンファレンス出席件数

(件)

センター名	東部	中部	西部	さいき	おおの
出席件数	20	5	5	8	17

(2) 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント事業

ア 介護予防支援事業【介護サービス事業勘定】

地域包括支援センターでは、指定介護予防支援事業者として、要支援者（要支援1・要支援2に認定された方）の介護予防支援を実施した。

(7) 介護予防支援件数

(件)

年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数		15,181	15,277	15,858
内 訳	地域包括支援センター 実施分	6,807 (44.8%)	7,005 (45.9%)	7,490 (47.2%)
	居宅介護支援事業所 委託分	8,374 (55.2%)	8,272 (54.1%)	8,368 (52.8%)

(イ) 令和6年度センター別件数

(件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
件 数		3,503	3,175	2,929	2,146	4,105
内 訳	地域包括支援センター 実施分	1,699 (48.5%)	1,614 (50.8%)	959 (32.7%)	1,288 (60.0%)	1,930 (47.0%)
	居宅介護支援事業所 委託分	1,804 (51.5%)	1,561 (49.2%)	1,970 (67.3%)	858 (40.0%)	2,175 (53.0%)

イ 介護予防ケアマネジメント事業（介護予防・日常生活支援総合事業）【介護保険事業勘定】

基本チェックリストやアセスメントを実施した結果、支援が必要な人（事業対象者）及び要支援認定者の自立支援を目的に介護予防ケアマネジメントを実施した。

(ア) 介護予防ケアマネジメント件数

(件)

年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数		5,891	6,203	6,085
内 訳	地域包括支援センター 実施分	3,021 (51.3%)	3,337 (53.8%)	3,280 (53.9%)
	居宅介護支援事業所 委託分	2,870 (48.7%)	2,866 (46.2%)	2,805 (46.1%)

(イ) 令和6年度センター別件数

(件)

センター名		東部	中部	西部	さいき	おおの
件 数		1,432	1,168	1,605	520	1,360
内 訳	地域包括支援センター 実施分	792 (55.3%)	618 (52.9%)	745 (46.4%)	350 (67.3%)	775 (57.0%)
	居宅介護支援事業所 委託分	640 (44.7%)	550 (47.1%)	860 (53.6%)	170 (32.7%)	585 (43.0%)

※ 種別ごとの件数の年次推移

(件)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度
介護予防支援	15,181	15,277	15,858	+581
介護予防ケアマネジメント	5,891	6,203	6,085	-118
合 計	21,072	21,480	21,943	+463

(3) 権利擁護事業

ア 高齢者虐待対応

虐待の通告があった場合は、高齢者虐待防止法に基づき、速やかにその高齢者の状況を把握し、介入の緊急性、介護保険サービスによる介入方法、分離の必要性等の対応方法を関係課とコア会議を実施し、計画的に支援を行った。

虐待認定した16件のうち12件は、施設入所等につなげることにより虐待者との分離を図った、又は虐待者及び被虐待者ともに適切な支援につながった等の理由により支援が終結した。また、令和6年度以前に虐待認定した8件も終結した。

(7) 虐待対応件数 (件)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
虐待通告件数	49	52	48
うち虐待認定件数	20	14	16

(4) 令和6年度センター別虐待対応件数 (件)

センター名	東部	中部	西部	さいき	おおの	地域包括 ケア推進課
虐待通告件数	12	5	10	14	6	1
うち虐待認定件数	4	0	4	7	0	1

イ 判断能力が低下した状況にある人への支援など

認知症等で判断能力が十分でない人の財産管理や生活に配慮する身上保護に関する相談を受け付け、成年後見人制度等の説明や親族申立ての支援を行ったり、本人が自ら契約行為ができる場合には「かけはし」（福祉サービス利用援助事業）へつなぐ等の支援を行った。

また、親族等による申立てができない場合には市長申立てを行った。

(件)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成年後見に関する相談	93	117	119
うち市長申立て	3	6	6

ウ 高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

高齢者並びに障がい者虐待の早期発見・早期対応及び防止を推進することを目的として、20団体で構成する高齢者虐待防止ネットワークを設置している。

令和6年7月8日（月）に会議を開催し、虐待集計結果と対応報告、養護者による身体的心理的虐待について意見交換を行った。虐待に気付いていない養護者もい

るため、虐待早期発見の周知の継続や多機関で連携して支援することの必要性について意見が出された。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

在宅・施設を通じた地域における多職種相互の協働等により、連携を図りながら支援を行うためのネットワークづくりに取り組んだ。また、各居宅介護支援専門員の資質向上のための研修、連絡会、情報交換等を行った。

ア 介護支援専門員支援事業

会 議 名	回数	実 施 内 容
廿日市市居宅介護支援事業所連絡会 (参加人数 62人)	1回	令和6年7月16日 (火) ・ 難病に関する制度、感染症 (結核) について ・ 廿日市市入退院支援ガイドラインについて ・ 高齢者福祉に関する情報提供について ・ 避難行動要支援者避難者支援制度について
廿日市市居宅介護支援専門員研修 (参加延人数262人)	5回	①令和6年5月25日 (土) 「ケアマネジャーとして知っておきたい心不全の病態とケア」 (39人) ②令和6年8月27日 (火) 「事例検討会 (難病)」 (51人) ③令和6年9月3日 (火) 「災害時における多職種連携について」 (78人) ④令和6年12月10日 (火) 「ヤングケアラーについて」 (57人) ⑤令和7年2月25日 (火) 「災害発生後の現場報告を受け危機感を持ち災害支援を考える」 (37人)
地域包括支援センター連絡会 (当日参加人数31人)	1回	令和6年11月22日 (金) ・ 感染症の現状について ・ 秋から冬に気をつけたい感染症の予防について ・ デモストレーション ・ 嘔吐物処理演習 ※後日、講義及びデモストレーションのオンデマンド配信

介護支援専門員への支援	延件数 1,360 件	(件)							
		センター名	困難事例	サービス担当者会議 (委託)	ケアプラン 内容	ケース会議 (居宅主催)	同行訪問	その他	合計
		東部	111	162	31	2	15	41	362
		中部	21	141	9	4	5	0	180
		西部	97	192	45	1	23	29	387
		さいき	10	55	25	4	18	3	115
		おおの	23	230	6	0	51	6	316

イ 関係機関とのネットワークづくり

会 議 名	回数	実 施 内 容
廿日市市高齢者 虐待防止・権利 擁護研修 (参加人数 39 人)	1 回	令和7年2月18日(水) ・「虐待防止法が目指していること」 講師：広島県社会福祉協議会 権利擁護センターぱあとなあひろしま 吉本 律子 さん ・事例提供(2事例) ・グループワーク
障害福祉分野と 高齢分野との連 絡会 (参加人数 58 人)	1回	令和7年1月29日(水) ・「障害福祉サービスから介護保険サービスに移行した事例」 講師：相談支援事業所エスペランサ 金子 智範 さん ・グループワーク
在宅医療・介護 関係職種連絡会 (参加人数 48 人)	1回	令和7年1月17日(金) ・「認知症等高齢者の意思決定支援について」 講師：県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学コース 手島 洋 さん ・事例提供(3事例) ・グループワーク
高齢者・障がい者 虐待防止ネットワ ーク会議 (参加人数 34人)	1回	令和6年7月8日(月) ・令和5年度障がい者虐待、高齢者虐待の対応状況の報告 ・令和6年度廿日市市の高齢者・障がい者虐待防止に向けた 取組 ・意見交換「養護者による身体的・心理的虐待について」

民生委員児童委員協議会定例会	毎月	高齢福祉・介護保険情報提供、個別相談対応
認知症関係会議	7回	・認知症高齢者支援会議（4回） ・はつかいち見守り安心ネットワーク会議（1回） ・キャラバン・メイト連絡協議会（2回）

ウ 地域包括支援センター連絡会等

会 議 名	回数	実 施 内 容
連絡会	3回	①令和6年6月26日（水） ・総合事業における短期集中型予防サービスの果たす役割と県内市町の実施状況 ・防府市の取組（リエイブルメント・サービス） ②令和6年8月26日（月） ・安全な自動車運転・自転車運転にむけて ・すずらんの会の活動紹介 ・障がい者制度と就労支援サービスに繋げるための支援 ③令和6年11月22日（金） ・感染症の現状について ・感染症の予防について ・嘔吐物の処理演習（演習）
所長会議	7回	・地域課題の報告 ・認知症施策の共有について ・大雨での対応状況の振り返り ・重層的支援体制整備支援事業について ・相談支援ネットワーク会議について ・包括運営での疑問、近況報告等について
保健師部会	6回	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について ・百歳体操について ・ちょっとひと息医療とふくしの相談室について ・在宅医療・介護関係職種連絡会について ・各包括での事業運営、近況報告等について
社会福祉士部会	7回	・給付管理について ・家族介護者教室について ・成年後見申立ての情報交換について ・虐待ケースの相談、帳票の見直しについて ・高齢者虐待防止に関する取組について（研修・広報等）

主任ケアマネ部 会	8回	・居宅介護支援事業所連絡会について ・地域包括支援センター連絡会について ・主任ケアマネジャー勉強会について ・事例検討会について
認知症地域支援 推進員部会	12回	・もの忘れ相談会について ・のうKNOWの活用について ・認知症啓発イベントについて ・すずらんの会について ・認知症家族介護教室について

エ 地域ケア会議

地域の課題を発見し、支援のネットワークづくりを行うため、民生委員等の地域の関係者や行政、社会福祉協議会、医療関係者、居宅介護支援事業所等が集まり、情報共有、地域の生活課題の検討、事例検討等を行った。また、複雑な課題を抱える個別事例については、本人や家族、ケアマネジャー、民生委員児童委員等の関係者が集まり、課題解決に向けて協議をした。

圏 域	会 議 名	回数	課題発見 地域づくり・資源開発
廿日市東部	・地域ケア会議（個別） ・地域ケア会議（圏域別） ・自立支援型個別ケア会議	18 回 8 回 2 回	・生活困窮、受診拒否、親族、近隣との関係性の希薄、キーパーソンの不在、認知症の方の金銭管理などが課題に上がった。銀行や生活支援センターを交え、勉強会や情報交換を行った。
廿日市中部	・地域ケア会議（個別） ・地域ケア会議（圏域別） ・自立支援型個別ケア会議	18 回 7 回 2 回	・坂の多い過疎地に居住する独居高齢者の免許返納に伴う買い物や土地の管理など生活支援が課題となり、関係機関とのサービス調整や居場所の立上げにつながった。 ・団地に居住する 8050 世帯の孤立化や虐待が課題となり、関係機関と連携し、定期的な見守り体制の整備を行った。 ・通所サービス利用困難な認知症高齢者同士が集まる近所宅のサロンをチームオレンジとしての活動拠点とした。
廿日市西部	・地域ケア会議（個別） ・地域ケア会議（圏域別） ・自立支援型個別ケア会議	19 回 6 回 2 回	・坂が多い地域もあり、足腰に不安がある人は買い物など日常生活で一人で外出することが難しい課題に対し、訪問Dの検討のため事業所と協力し、地域住民に聞き取りを実施。 ・特にマンション群では近所とのつながりも持ちづらい孤立化の課題に対し、SCと連携しマンションの通いの場とつながり、令和7年度出前講座実施予定。
さいき	【佐伯地域】 ・地域ケア会議（個別） ・地域ケア会議（圏域別） ・自立支援型個別ケア会議	4回 5回 2回	・サービス事業所、人材不足（特に訪問介護事業所の不足）→※R6.4～補助金創設後の意見交換や中山間地域で利用できる社会資源表を作成。 ・移動が難しく受診が必要でも往診できる医師が少ない。

	【吉和地域】 ・地域ケア会議（圏域別・個別）	12回	サービス事業所、人材不足（特に訪問介護事業所の不足で曜日限定利用）
おおの	【大野地域】 ・地域ケア会議（個別） ・地域ケア会議（圏域別・定例） ・自立支援型個別ケア会議	17回 12回 2回	地域のつながりづくり 65歳以下の生活支援の連携 困窮世帯や認知症の支援（金銭管理やゴミの片付け、住まいの確保）の課題に対し、圏域別地域ケア会議で個別課題の勉強会を実施した。 緊急時の高齢者シェルター事業を検討してもらった。
	【宮島地域】 ・地域ケア会議（圏域別・個別）	15回	移動手段が少なく、通院やサロン等に行くのが難しいという課題に対し、民児協定例会などで交通政策課との意見交換会を実施してもらった。

オ ちょっとひと息医療とふくしの相談室

NPO法人廿日市市五師士会と共催で、地域の高齢者のため専門職と行政及び地域のネットワークの体制づくりを目的として、市民センター等8ヶ所で実施した。

(回・人)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回 数	7	8	8
延来場者数	113	194	133
延相談者数	50	76	93

カ 地域での活動等

地域のサロンや老人クラブ等で介護予防に関する情報提供を行い、いきいき百歳体操の普及活動として出前講座を実施した。また、「認知症サポーター養成研修」の講師として協力した。

(回・人)

種類	センター名	内 容	回数	参加者数
出前講座	東 部	・介護保険制度の説明とサービス利用の流れ	15	367
	中 部	・高齢者福祉サービス	17	336
	西 部	・生活不活発病、フレイル	21	530
	さいき	・熱中症、ヒートショック、感染症	9	205
	おおの	・人生会議、もしバナカード	5	98
	計		67	1,536

百歳体操	東 部	【プレゼン】 通いの場づくりの意義、百歳体操の紹介・実技	5	89
	中 部	【初 回】 体力測定、百歳体操簡易版体験、生活不活発病の話	15	86
	西 部	【3 ヶ月後】 体力測定、口腔フレイル予防、かみかみ百歳体操	5	28
	さいき	【6 カ月後】 体力測定、栄養の話、スペシャル版体験	8	110
	おおの	【1 年 後】 体力測定、介護予防の話、しゃきしゃき百歳体操、認知症予防	21	393
	計		54	706
認知症	東 部	・認知症予防	16	152
	中 部	・認知症と睡眠の関係	21	199
	西 部	・認知症の基本的理解と対応について	34	389
	さいき	・認知症サポーター養成講座	51	562
	おおの	・認知症サポーターステップアップ講座 ・もの忘れ相談会 ・認知症カフェ 等	28	772
	計		150	2,074

(5) 認知症施策推進事業

ア 認知症地域支援推進員の活動

地域包括支援センターに1名ずつ配置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務や、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援等を行った。

(人・件)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談実人数	804	815	742
訪問延件数	1,230	1,186	1,051
相談延件数	3,844	2,425	2,952

イ 認知症初期集中支援チームとの連携

認知症初期集中支援チームは、医療法人みやうち（廿日市野村病院）に委託して実施しており、認知症又はその疑いがある人や家族を専門職が訪問し、アセスメントや家族支援など包括的・集中的に行っている。

認知症地域支援推進員は、月1回のチーム員会議に出席し、情報共有を図りながら、自立生活の支援を行った。

ウ もの忘れ相談会

もの忘れや認知症の不安を持つ人やその家族等が早期に相談をし、適切な支援につながるよう、市民センターや商業施設等で「もの忘れ相談会」を実施している。

(回・人)

年 度	令和5年度	令和6年度
実施回数	58	57
相談者数	89	126

エ すずらんの会（本人ミーティング）

認知症の当事者が自らの体験を語る場として、「すずらんの会」を不定期に開催した。主には認知症の人や家族が集まり、当事者自らが考案した内容で開催したり、それぞれの思いを語り合った。

年 度	令和5年度	令和6年度
実施回数	3	6
参加者数	当事者7名、家族7名	当事者18名、家族17名
内容	・自己紹介 ・詩吟 ・ストレッチ&ウォーキング等	・座談会 ・脳トレ体操 ・能の披露 等

決算に関する事項

(1) 直営（はつかいち西部、さいき、おおの）

令和6年度 地域包括支援センター運営事業決算状況

歳 出

(単位：円)

款	項	目	事業	令和6年度決算額	令和5年度決算額	対前年比
				①	②	①－②
03 民生費	01 社会福祉費	02 老人福祉費	31 職員給与費	85,932,614	69,021,203	16,911,411
			02 給料	44,353,200	35,551,700	8,801,500
			03 職員手当等	27,246,917	21,880,109	5,366,808
			04 共済費	14,332,497	11,589,394	2,743,103
			31 退職者手当負担金	6,954,736	5,528,691	1,426,045
			18 負担金、補助及び交付金	6,954,736	5,528,691	1,426,045
人件費 合計				92,887,350	74,549,894	18,337,456
03 民生費	01 社会福祉費	02 老人福祉費	32 地域包括支援センター運営事業	132,415,990	124,635,295	7,780,695
			01 報酬	13,665,378	9,734,918	3,930,460
			02 給料	12,025,200	7,278,400	4,746,800
			03 職員手当等	9,583,120	4,257,684	5,325,436
			04 共済費	5,835,465	3,649,119	2,186,346
			07 報償費	170,920	189,280	▲ 18,360
			08 旅費	445,740	463,903	▲ 18,163
			10 需用費	1,979,288	1,831,421	147,867
			11 役務費	1,499,764	1,698,491	▲ 198,727
			12 委託料	75,153,150	73,274,453	1,878,697
			13 使用料及び賃借料	4,706,127	5,066,339	▲ 360,212
			17 備品購入費	780,998	1,091,860	▲ 310,862
			18 負担金、補助及び交付金	6,557,140	14,059,327	▲ 7,502,187
			26 公課費	13,700	40,100	▲ 26,400
歳出合計				132,415,990	124,635,295	7,780,695
総計				225,303,340	199,185,189	26,118,151

令和6年度 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算状況

歳 入

(単位：円)

款	項	節	令和6年度決算額	令和5年度決算額	差額
01 サービス収入	01 介護予防マネジメント収入	01 介護予防マネジメント収入	42,617,714	40,512,124	2,105,590
02 繰越金	01 繰越金	01 繰越金	1,394,645	2,536,711	▲ 1,142,066
03 諸収入	01 雑入	01 雑入	80,650	68,627	12,023
歳入総計			44,093,009	43,117,462	975,547

歳 出

(単位：円)

款	項	節	令和6年度決算額	令和5年度決算額	対前年比
			①	②	①－②
01 事業費	01 介護予防支援事業	01 介護予防支援事業費	39,456,190	36,374,817	3,081,373
02 諸支出金	01 繰出金	27 繰出金	4,636,819	5,348,000	▲ 711,181
歳出総計			44,093,009	41,722,817	2,370,192

(2) 委託

令和6年度 地域包括支援センターはつかいち東部 運営業務委託収支報告書

(単位：円)

科 目		センター全体	うち包括的 支援事業	内訳・備考
収入合計（B）		57,039,341	34,130,624	
項 目	委託料	34,100,000	34,100,000	基本事業費
	介護報酬 （介護予防支援）	16,270,874		直営1,698件（新規58件含む）、委託1,804件（新規31件、連携40件含む）、前年雄誤請求清算
	介護報酬 （介護予防ケアマネジメント）	6,637,843		直営791件（新規29件含む）、委託640件（新規18件、連携24件含む）、前年雄誤請求清算
	その他	30,624	30,624	利子、実習費、助成金
支出合計（A）		56,624,867	33,716,150	
項 目	人件費	人件費計	43,040,021	30,531,175
		職員俸給	33,324,457	24,173,404
		職員諸手当	4,526,192	2,931,744
		共済費	5,189,372	3,426,027
	運営費	物件費計	13,584,846	3,184,975
		報償費	92,480	92,480
		旅費	3,000	3,000
		消耗品費	363,705	363,705
		燃料費	125,004	125,004
		印刷製本費	75,350	75,350
		光熱水費	0	0
		修繕費	1,210	1,210
		郵便料	67,816	67,816
		通信運搬費	512,753	512,753
		保険料	288,870	288,870
		業務委託料	8,800	8,800
		予防支援・ケアマネ業務委託費	10,204,815	
		事務所賃借料	0	0
		その他賃借料	1,322,635	1,322,635
		備品購入費	0	0
		負担金	39,280	39,280
		その他	479,128	284,072
				健康診断費、福利厚生掛金、支払手数料、印紙、その他
		収支（C=A-B）	414,474	414,474

令和6年度 地域包括支援センターはつかいち中部 運営業務委託収支報告書

(単位：円)

科目		センター全体	うち包括的 支援事業	内訳・備考	
収支合計（A）		56,365,354	36,117,189		
項目	委託料	35,900,000	35,900,000	基本事業費	
	介護報酬（介護予防支援）	14,712,410		直営新規@7,534×35件、直営継続@4,471×1,579件、委託新規（連携あり）@10,597×29件、委託新規（連携なし）@7,534×3件、委託連携加算（新規なし）@7,534×9件、委託継続@4,471×1,514件	
	介護報酬（介護予防ケアマネジメント）	5,535,755		直営新規@7,534×29件、直営継続@4,471×591件、委託新規（連携あり）@10,597×19件、委託新規（連携なし）@7,534×1件、委託連携加算（新規なし）@7,534×6件、委託継続@4,471×530件	
	その他	217,189	217,189	査定減、電気代返金等	
支出合計（B）		56,430,724	36,144,902		
項目	人件費	人件費計	40,406,302	28,979,034	
		職員俸給	32,691,172	23,439,570	
		職員諸手当	1,838,302	1,319,901	
		法定福利費	5,176,108	3,716,446	
		福利厚生費	700,720	503,117	食事補助費
	物件費	物件費計	16,024,422	7,165,868	
		講師謝礼費	0	0	
		旅費	4,500	4,500	講師旅費、研修会旅費等
		消耗品費	237,400	237,400	ユニフォーム、文具等
		印刷製本費	380,345	380,345	コピー代等
		備品購入費	8,800	8,800	机、椅子、電話等
		郵便料	66,490	66,490	切手代等
		修繕費	1,270,031	1,270,031	内外装工事等
		燃料費	164,048	164,048	自動車燃料費
		光熱水費	354,633	354,633	電気、ガス、水道等
		通信運搬費	787,256	787,256	携帯電話、固定電話代等
		保険料	99,490	99,490	車両賠償責任保険、任意保険等
		賃借料	448,560	448,560	
		予防支援業務委託	6,487,011		予防@9,537×38件+@6,781×3件+@6,780×9件+@4,024×1,511件
		ケアマネジメント委託旅費	2,371,543		ケア@9,537×17件+@6,781×1件+@6,780×6件+@4,024×529件
		その他委託料	320,181	320,181	清掃委託費
		事務所賃借料	2,184,000	2,184,000	家賃等
		その他の賃借料	701,394	701,394	車リース、備品リース等
		負担金	66,740	66,740	研修会等負担金、介護支援専門員年会費当費
		広告宣伝費	72,000	72,000	広電バス社内案内等
		その他	0	0	証明手数料
		収支（A-B）		-65,370	-27,713